

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年5月15日
【四半期会計期間】	第11期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	O A T アグリオ株式会社
【英訳名】	OAT Agrio Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡 尚
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号
【電話番号】	03-5283-0251（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 重内 俊之
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号
【電話番号】	03-5283-0262
【事務連絡者氏名】	取締役 重内 俊之
【縦覧に供する場所】	O A T アグリオ株式会社大阪支店 （大阪市中央区久太郎町三丁目1番29号） O A T アグリオ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区錦一丁目18番11号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第10期 第1四半期連結 累計期間	第11期 第1四半期連結 累計期間	第10期
会計期間	自2019年1月1日 至2019年3月31日	自2020年1月1日 至2020年3月31日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (百万円)	7,364	6,250	21,909
経常利益 (百万円)	729	888	837
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	482	553	4
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	247	58	446
純資産額 (百万円)	7,568	6,652	6,807
総資産額 (百万円)	32,669	31,238	29,724
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	89.14	102.32	0.87
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	20.8	19.1	20.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第10期第1四半期連結累計期間の関連する主要な経営指標等については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額を記載しています。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクは、次のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

中華人民共和国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当社肥料・バイオスティミュラントの製造子会社が存在する中国において生産活動への影響が及んでおり、今後の経過によっては、当社グループの経営成績に影響を及ぼす可能性があります。またオランダのBlue Wave Holding B.V.の主力市場である花卉市場において、イベントの中止による花卉の需要低下や流通網の停滞などにより、同社の花卉資材の需要減少などが同社の経営成績に影響を及ぼす可能性があります。感染拡大による事業への影響については、今後の推移状況を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に関連する指標については暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額に基づいて記載しています。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年3月31日)におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられたものの、2020年2月下旬に新型コロナウイルスに関する政府の緊急対応策が発表されて以降、景気への悪影響が始まっております。一方、世界経済に目を向けると、中国では2020年1月から新型コロナウイルスの感染拡大により景気は急激に減速し、その影響は世界各国へ拡大しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、前年同四半期比で国内・海外ともに販売数量が減少しましたが、製造原価の低減、経費削減及び支払利息の減少などにより利益率は改善しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は62億50百万円（前年同四半期比11億14百万円減少、同15.1%減）、営業利益は9億52百万円（前年同四半期比1億97百万円増加、同26.2%増）、経常利益は8億88百万円（前年同四半期比1億58百万円増加、同21.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億53百万円（前年同四半期比71百万円増加、同14.8%増）となりました。

なお、当社グループの第1四半期連結累計期間の経営成績は、国内農薬事業を中心に需要盛期に備えた出荷が集中するため、売上高及び営業利益等が他の四半期会計期間と比較して多額となる傾向にあります。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の経営成績は以下のとおりであります。

農薬分野において、国内農薬市場では、競合農薬メーカーの新薬殺虫剤等の影響を受けて「ハチハチ」、「ダニサラバ」、「オリオン」などの販売が前年同四半期比で減少したことにより売上高が減少いたしました。また、海外農薬市場では、販売戦略の見直しによる販売価格の上昇による影響で、海外向けの殺虫剤「オンコル」の販売が前年同四半期比で減少したことにより売上高が減少いたしました。その結果、農薬分野の売上高は35億27百万円（前年同四半期比7億5百万円減少、同16.7%減）となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野においても、「アトニック」などの販売が前年同四半期比で減少したことにより売上高が減少いたしました。その結果、肥料・バイオスティミュラント分野の売上高は27億22百万円（前年同四半期比4億8百万円減少、同13.0%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は312億38百万円で、前連結会計年度末に比べ15億13百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加15億36百万円によるものであります。

負債につきましては245億86百万円で、前連結会計年度末に比べ16億69百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加12億7百万円、長期借入金の減少3億18百万円によるものであります。

純資産は66億52百万円で、前連結会計年度末に比べ1億55百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の増加3億40百万円、為替換算調整勘定の減少4億60百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3億25百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,536,000	5,536,000	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	5,536,000	5,536,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日	-	5,536,000	-	461	-	504

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 123,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,410,100	54,101	-
単元未満株式	普通株式 2,000	-	-
発行済株式総数	5,536,000	-	-
総株主の議決権	-	54,101	-

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
O A Tアグリオ株式会社	東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号	123,900	-	123,900	2.24
計	-	123,900	-	123,900	2.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第10期連結会計年度	有限責任監査法人トーマツ
第11期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間	有限責任 あずさ監査法人

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,414	3,764
受取手形及び売掛金	5,084	6,621
商品及び製品	3,041	3,049
仕掛品	490	779
原材料及び貯蔵品	1,647	1,505
その他	784	899
貸倒引当金	26	28
流動資産合計	14,436	16,590
固定資産		
有形固定資産	4,047	3,871
無形固定資産		
のれん	6,848	6,538
顧客関係資産	2,878	2,760
その他	417	402
無形固定資産合計	10,144	9,701
投資その他の資産	1,095	1,075
固定資産合計	15,288	14,648
資産合計	29,724	31,238
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,418	3,625
短期借入金	6,991	8,091
未払法人税等	297	375
賞与引当金	30	122
売上割戻引当金	38	104
返品調整引当金	17	16
損害賠償引当金	137	80
その他	1,966	1,501
流動負債合計	11,899	13,918
固定負債		
長期借入金	9,150	8,832
退職給付に係る負債	244	208
繰延税金負債	942	902
その他	681	725
固定負債合計	11,017	10,668
負債合計	22,917	24,586

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,410	2,410
利益剰余金	4,059	4,399
自己株式	162	162
株主資本合計	6,769	7,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	33
為替換算調整勘定	671	1,132
退職給付に係る調整累計額	19	8
その他の包括利益累計額合計	685	1,157
非支配株主持分	724	699
純資産合計	6,807	6,652
負債純資産合計	29,724	31,238

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,364	6,250
売上原価	4,514	3,345
売上総利益	2,849	2,904
販売費及び一般管理費	2,095	1,952
営業利益	754	952
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	2	2
助成金収入	8	-
受取技術料	44	-
その他	11	7
営業外収益合計	72	15
営業外費用		
支払利息	82	50
為替差損	12	25
その他	2	2
営業外費用合計	97	78
経常利益	729	888
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	729	889
法人税、住民税及び事業税	451	366
法人税等調整額	211	44
法人税等合計	240	321
四半期純利益	489	567
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	482	553

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	489	567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	40
為替換算調整勘定	286	497
退職給付に係る調整額	2	28
その他の包括利益合計	241	509
四半期包括利益	247	58
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	81
非支配株主に係る四半期包括利益	4	23

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
受取手形割引高	23百万円	5百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当社グループが販売する製品は、農繁期に備え春季に出荷が集中する傾向にあります。このため第1四半期連結累計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	234百万円	212百万円
のれんの償却額	146	140

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月25日 取締役会	普通株式	216	40	2018年12月31日	2019年3月6日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月28日 取締役会	普通株式	216	40	2019年12月31日	2020年3月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	89.14円	102.32円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	482	553
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	482	553
普通株式の期中平均株式数(株)	5,412,152	5,412,046

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

2020年2月28日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....216百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....40円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2020年3月13日

(注) 2019年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月15日

O A Tアグリオ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古山和則 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 越智一成 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているO A Tアグリオ株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、O A Tアグリオ株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2019年12月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2019年5月15日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2020年3月27日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。